

小千谷の秋

獲れたての新鮮な食材や華やかな花火が、小千谷の秋の代名詞です。9月下旬から、景色は所々が黄金色の田んぼになります。山本山高原にある標高 336 メートルの展望台から、この田んぼを眺めることができます。収穫の時期には、獲れたてのソバの実で作られたそばや、幅広い種類の野菜・キノコなど、季節の特産品を味わう機会が豊富です。

9月上旬の2日間にわたり、小千谷の空は片貝まつりの見事な花火で照らされます。片貝まつりの花火は、片貝地区の浅原神社の神々に捧げるものとして始まりました。片貝まつりのハイライトは、巨大な四尺玉花火です。これは世界でも最大級の花火であり、直径は約 800 メートルあります。片貝まつりでは、合計約 15,000 発のまばゆい花火が打ち上げられます。